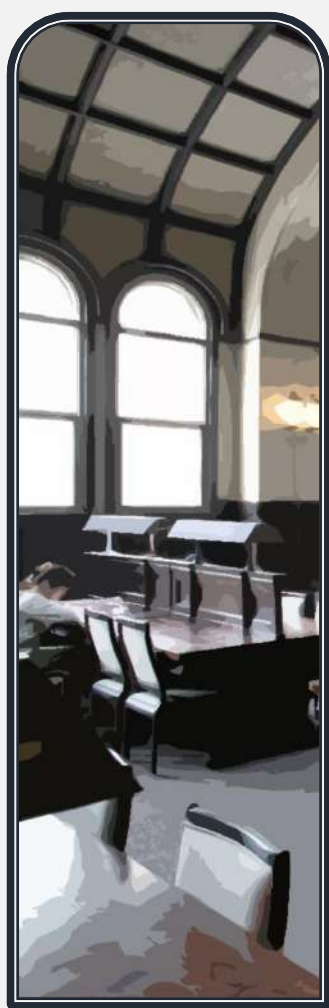


○ ◇ ○ ◇ ○ ◇ ○ ◇ ○ ◇ ○
神戸大学附属図書館要覧
○ ◇ ○ ◇ ○ ◇ ○ ◇ ○ ◇ ○



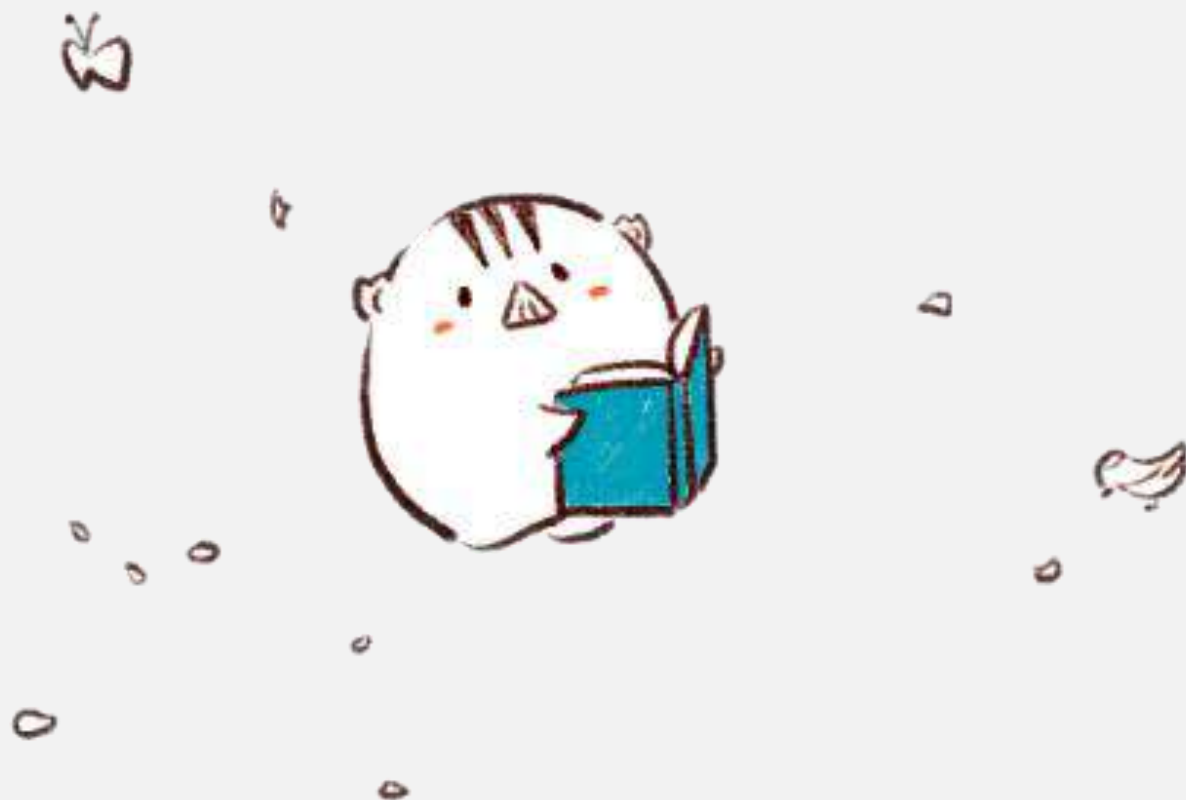
2 0 2 1

国立大学法人神戸大学附属図書館

Kobe University Library

CONTENTS

- 1 附属図書館の歩み
- 2 図書館組織・事務組織
- 3 現況統計・諸統計の年次推移
- 4 神戸大学ビジョンへの対応と中期目標・中期計画
- 5 電子ジャーナルとデータベース
- 6 デジタルアーカイブの構築・提供
- 8 図書館の活動
- 10 各図書館室/関連施設概要
- 15 歴代館長
- 16 特色ある蔵書・コレクション
- 17 ACCESS / CONTACT



附属図書館の歩み

明治	35年	(1902)	神戸高等商業学校開校
	36年	(1903)	神戸高等商業学校図書館開館(36年に図書課設置、40年に夜間開館開始)
大正	10年	(1921)	神戸高等工業学校開校(図書課を設置)
昭和	8年	(1933)	現在の社会科学系図書館本館が竣工
	10年	(1935)	社会科学系図書館本館2階書庫入口に壁画「青春」(中山正實氏)が描かれる
	18年	(1943)	第1回三商大(神戸・東京・大阪)図書館協議会を開催
	24年	(1949)	新制神戸大学設立、附属図書館設置 設置当初は、六甲台分館・住吉分館・長田分館・姫路分館の4分館、学舎の六甲地区集中を経て、昭和39年度には、六甲台分館・文学部・教育学部・理学部・工学部・教養部の6分館及び中央図書館に編成
	40年	(1965)	県立神戸医科大学の国立移管に伴い、附属図書館医学部分館(現、医学分館)設置
	44年	(1969)	県立兵庫農科大学の国立移管に伴い、附属図書館農学部分室設置
	54年	(1979)	附属図書館審議会「神戸大学附属図書館構想と実現の経過措置」を承認
	56年	(1981)	現在の社会科学系図書館管理棟が竣工
	58年	(1983)	情報処理センター(現、情報基盤センター)のコンピュータにより業務電算化に着手 ・外国雑誌管理システム(1983)・和雑誌管理システム(1984)・貸出管理システム(1986) ・学術情報センター(現、国立情報学研究所)とネットワーク接続(1987)
	59年	(1984)	自然科学系図書館竣工(理・工・農各館を統合)、人文・社会科学系図書館設置(六甲台・文を統合)
	61年	(1986)	文部省(当時)より、人文・社会科学系外国雑誌センターに指定される
	元年	(1989)	図書館業務専用電算機を導入 目録業務を電算化し、オンライン目録(OPAC)の提供開始 図書受入・雑誌所蔵等全業務の電算化を実現
	4年	(1992)	ILL(図書館間文献複写)システムの運用開始、目録遡及入力事業を開始
平成	7年	(1995)	阪神・淡路大震災 「震災文庫」の開設 図書館ホームページの正式運用開始
	8年	(1996)	医学部分館新営及び人間科学系図書室(現、人間科学図書館)改築が実現
	9年	(1997)	附属図書館研究開発室を設置 図書館業務システムを更新、Web版OPACのサービス開始 医療技術短期大学部の編入に伴い、医学部分館名谷分室(現、保健科学図書室)を設置
	11年	(1999)	神戸大学電子図書館システムの運用開始 電子情報掛(現、電子情報グループ電子図書館担当)を設置
	13年	(2001)	図書館業務システムを更新、「パーソナルサービス(現、アカウントサービス)」運用開始 情報リテラシー掛を設置
	14年	(2002)	国立大学図書館協議会コンソーシアムに加盟、電子ジャーナルの本格サービスを開始
	15年	(2003)	神戸商船大学統合に伴い、海事科学部分館(現、海事科学分館)を設置 電子図書館システムの更新
	16年	(2004)	国立大学法人化を機に図書館規則を改訂、図書館組織を改編 「総合図書館」設置、経済経営研究所図書館の編入など10館室体制、事務組織を1部2課19係に 附属図書館の中期目標・中期計画、年次計画を策定、評価委員会設置 附属図書館年次報告(平成15年度)を作成・公開、以後毎年継続 社会科学系図書館フロンティア館増築竣工、図書館資料展示会の開始
	17年	(2005)	図書館業務システムの更新 神戸大学機関リポジトリ構築に向けた基礎調査を実施
	18年	(2006)	神戸大学学術成果リポジトリ(Kernel)が本格実施
	19年	(2007)	総合・国際文化学図書館、人文科学図書館及び人間科学図書館で大規模改修実施 部局拠出を含む全学経費により電子ジャーナルやDB等の教育研究基盤資料の整備を継続実施
	20年	(2008)	電子図書館システムを更新 リンクリゾルバを導入 附属図書館審議会が「次期中期計画における教育研究基盤資料の維持・整備方策について」を学長に答申
	21年	(2009)	附属図書館の第2期中期目標・中期計画、年次計画を策定 大閲覧室の閲覧机補修実施 卒業生等に貸出サービス開始
	22年	(2010)	大学文書史料室設置 デジタルアーカイブ事業が「Library of the Year 2010」優秀賞を受賞 図書館システム・財務会計システム間の連携を実現 学生選書ツアー開始
	23年	(2011)	図書館業務システム・電子図書館システム更新 入退館システム導入(総合・国際、自然、海事、人間) 大学文書史料室が国立公文書館等に類する施設に指定 大壁画の修復 中山正實画伯作油彩画4点修復
	24年	(2012)	入退館システム導入(社会、保健) 国立大学図書館協会総会開催 図書館公式ツイッター開始 人文科学図書館で大規模改修実施
	25年	(2013)	人文科学図書館にラーニングコモンズ設置 社会科学系図書館で大規模改修実施 共通教育授業向けパスファインダー提供開始 グローバル人材育成支援図書コーナー、英語多読コーナーの設置
	26年	(2014)	社会科学系図書館にラーニングコモンズ設置 シリーズイベント「未来の図書館：図書館の新たなミッション」開催 「うりこ」を附属図書館マスコットキャラクターに制定
	27年	(2015)	附属図書館の第3期中期目標・中期計画、年次計画を策定 EUIJ国際シンポジウムを開催 総合・国際文化学図書館を含む鶴甲第一キャンパスにラーニングコモンズ設置 附属図書館学生チームULICS(うりくす)発足
	28年	(2016)	図書館業務システム・電子図書館システム更新 マスコットキャラクター「うりこ」のLINEスタンプ発売
	29年	(2017)	「神戸大学オープンアクセス方針」を制定 「神戸大学附属図書館今後10年の運営方針について」を発表
	30年	(2018)	大学文書史料室、学長の下に置く室へ体制変更 国立大学図書館協会シンポジウムを開催
令和	元年	(2019)	オープンサイエンス研修会を開催
	2年	(2020)	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策実施 保健科学図書室で大規模改修実施

※ 年表示は暦年による

附属図書館組織



事務組織と職員配置

	係名	正規	準正規	非常勤	館室名
事務部長	情報管理課				
	情報サービス課				
	情報管理課長 (社)				
	課長補佐 (社)				
	情報サービス課長 (自)				
	課長補佐 (白)				
	課長補佐 (総)				
	課長補佐 (医：欠)				
	大学文書史料室長				
	経済経営研究所事務課長				
	企画係	2		1	社会科学系図書館
	管理係	3			
	資料整備グループ				
	受入担当	2	1	1	
	雑誌担当	2		2	
事務部長	目録担当	2	1	1	社会科学系図書館
	整備担当	1			
	電子情報グループ				
	電子図書館担当	2		2	
	震災文庫担当	1		1	
	社会科学系情報サービス係	2		6	自然科学系図書館
	電子情報グループ情報システム担当	2			
	自然科学系情報サービス係	3		3	
	人文科学情報サービス係	3		2	
	情報リテラシー係	2			
	総合・国際文化学情報サービス係	2		4	総合図書館・国際文化学図書館
	人間科学情報サービス係	2	1	2	
	海事科学情報サービス係	2		2	
	医学情報サービス係	3		4	
	保健科学情報サービス係	2		1	
事務部長	大学文書史料室	2		2	大学文書史料室
	神戸大学出版会	(1)			
	経済経営研究所事務課図書係	3			経済経営研究所図書館
	附属図書館	正規職員 44名	準正規職員 3名	非常勤職員 32名	
	大学文書史料室	正規職員 2名		非常勤職員 2名	
	※非常勤職員数は、夜間開館要員等、特定事業に関わるものを除く				

(令和3年5月現在)

図書館の現況統計

		総合・国際 文化学 図書館	社会科学系 図書館	自然科学系 図書館	人文科学 図書館	人間科学 図書館	経済経営 研究所 図書館	医学分館	保健科学 図書室	海事科学 分館	合計
蔵書冊数 (R2末) ：上段 受入冊数 (R2) ：下段	和漢書	355,178 3,495	684,862 5,475	230,683 2,493	207,821 3,438	268,398 3,382	123,925 535	73,555 891	49,681 481	201,009 1,163	2,195,112 21,353
	洋書	141,931 728	731,222 2,695	219,359 773	116,069 748	76,581 178	150,993 73	82,329 39	7,822 10	56,671 99	1,582,977 5,343
	合計	497,109 4,223	1,416,084 8,170	450,042 3,266	323,890 4,186	344,979 3,560	274,918 608	155,884 930	57,503 491	257,680 1,262	3,778,089 26,696
		1,584 174	6,648 546	2,297 282	2,633 695	2,546 163	3,102 386	1,594 273	760 88	2,058 174	23,222 2,781
雑誌タイトル 所蔵数 (R2末) ：上段 受入数 (R2) ：下段	和雑誌	861 32	11,360 588	2,985 61	938 91	1,176 6	3,707 112	1,453 99	198 17	1,029 41	23,707 1,047
	洋雑誌	2,445 206	18,008 1,134	5,282 343	3,571 786	3,722 169	6,809 498	3,047 372	958 105	3,087 215	46,929 3,828
	合計	15,011 5,227	13,684 6,622	16,512 2,192	12,146 2,132	6,741 1,822	611 251	6,697 2,337	1,895 738	3,362 2,044	76,659 23,365
		23,357 35	21,378 101	15,358 7	10,521 24	10,069 7	294 0	2,594 14	3,764 6	4,834 3	92,169 197
貸出冊数 (R2)	教職員	28,619 430	28,101 1,069	17,557 516	12,677 659	11,898 621	545 28	4,945 337	4,508 341	6,881 46	115,731 4,047
	学生	217 180	185 3,234	73 317	331 310	108 281	17 114	3 819	6 89	5 155	945 5,499
	合計	405 405	1,020 1,020	74 74	357 357	197 197	17 17	9 9	4 4	80 80	2,163 2,163
		3,558 389	10,313 411	3,287 286	1,288 122	1,474 153	1,084 24	1,612 220	808 88	2,170 170	25,594 1,863
図書館施設 (※面積は㎡)											

(「令和2年度 神戸大学附属図書館年次報告」による)

諸統計の年次推移

	蔵書冊数 : 上段 年間受入冊数 : 下段			所蔵雑誌種数 受入雑誌種数	貸出冊数 学生	ILL 複写件数 貸借件数 依頼 受付		資料費 (千円)
	和書	洋書	合計			依頼	受付	
昭和63年度	1,402,936	1,110,684	2,513,620	25,331	141,187	4,970	5,204	605,566
	38,853	38,315	77,168	16,165		170	62	
平成3年度	1,516,243	1,202,709	2,718,952	26,411	151,193	5,557	7,807	619,709
	35,113	29,322	64,435	17,011		255	155	
平成6年度	1,614,293	1,287,863	2,902,156	27,833	148,610	9,269	14,340	658,898
	31,696	28,446	60,142	17,223		346	518	
平成9年度	1,735,807	1,380,723	3,116,530	29,183	168,219	15,120	25,288	760,340
	41,056	32,113	73,169	17,038		1,630	1,699	
平成12年度	1,865,220	1,467,065	3,332,285	30,345	215,845	19,653	18,421	781,078
	45,722	29,520	75,242	16,322		1,233	2,515	
平成15年度	1,851,198	1,459,536	3,310,734	31,717	221,558	15,818	17,181	701,174
	38,505	23,464	61,969	14,176		1,805	2,322	
平成18年度	1,977,322	1,513,848	3,491,170	33,041	233,283	10,919	14,755	655,744
	44,474	18,262	62,736	11,215		2,469	3,401	
平成21年度	2,070,230	1,534,603	3,604,833	34,059	232,192	8,611	10,900	794,948
	42,559	16,444	59,003	11,045		1,777	2,857	
平成24年度	2,159,038	1,568,491	3,727,529	46,609	228,284	8,679	11,086	646,641
	37,226	14,217	51,443	9,544		1,253	2,940	
平成27年度	2,170,644	1,587,537	3,758,181	45,897	251,799	7,747	8,919	707,429
	32,076	12,121	44,197	8,031		1,511	3,006	
平成28年度	2,186,044	1,587,243	3,773,287	45,955	232,816	7,435	8,367	726,327
	29,386	10,184	39,570	6,558		1,646	3,121	
平成29年度	2,187,391	1,583,959	3,771,350	46,120	219,308	7,071	6,855	650,191
	25,361	7,510	32,871	5,400		1,382	3,013	
平成30年度	2,197,263	1,586,764	3,784,027	46,674	208,442	5,773	7,033	660,255
	24,032	7,057	31,089	4,656		1,240	2,716	
令和元年度	2,201,262	1,588,010	3,789,272	47,013	209,180	4,813	7,088	637,583
	25,811	6,348	32,159	3,983		1,070	2,700	
令和2年度	2,195,112	1,582,977	3,778,089	46,929	92,169	4,047	5,499	641,724
	21,353	5,343	26,696	3,828		945	2,163	

神戸大学ビジョンへの対応と中期目標・中期計画

神戸大学ビジョンと附属図書館

<ビジョン> ○優れた知とイノベーションを創出し、社会に還元する

- ◎教育研究基盤としての電子ジャーナル・データベース整備
- ◎オープンアクセスの推進と研究成果の電子的発信

<ビジョン> ○多様性、国際性、卓越性と柔軟性の涵養を重視する

- ◎全分野にわたる380万冊の蔵書群と配送システムの整備
- ◎関係部局・組織が連携した学修支援体制（設備・資料・人）の整備

<ビジョン> ○社会の期待に応えるべく、産業界、自治体等と共創する

- ◎震災文庫・新聞記事文庫等特色あるコレクションの学内外への提供と連携
- ◎大学の歴史的文書等の一般利用への提供

神戸大学附属図書館の第3期中期目標・中期計画

【8-4】分野融合・新領域創出等のグローバルな研究の実施を支援するため、電子ジャーナル等の学術情報の利用環境の維持と利用向上を促進するとともに、オープンアクセス等の学術情報流通の潮流を踏まえ、多様な研究成果をデジタル形態で保存し、国際的に発信する体制を強化する。

【3-2】グローバル化やアクティブラーニングの推進など学部・大学院教育における機能強化を実施するため、関係部局・組織が連携した学修支援体制を整備し、ラーニングコモンズやICT教育基盤等の学修の場や設備の拡充、学修に必要な資料の体系的整備、及び学修に関する人的支援の拡充を進める。

卓越研究大学として世界最高水準の
教育研究拠点を構築するための
学術情報基盤を整備する

【26-1】・社会への説明責任の観点から、神戸大学における教育研究活動の状況や自己点検・評価に関する情報等を関係者にわかりやすく伝わる形式で公表するとともに、大学ポートレートの活用や大学の歴史的
文書等を一般利用に供するなど、積極的な情報発信を行う。

【10-4】・図書館が所蔵する、阪神・淡路大震災関連資料を網羅的に収集した「震災文庫」、他に現存しない記事を多数含む明治末から戦前の全文データベース「新聞記事文庫」等の特色ある資料を、阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」や国会図書館等と連携しながら、電子的発信を含む多様な手法により公開し、社会及び地域への貢献を実施する。

電子ジャーナルとデータベース

学内から利用できる主要な出版社の電子ジャーナル

出版社・提供サイト	タイトル数
ACS	64 誌
APS	11 誌
Cairn.info	518 誌
Cambridge	404 誌
EBSCOhost Business Source Premier	2,143 誌
EBSCOhost CINAHL	70 誌
EBSCOhost PsycARTICLES	119 誌
Elsevier	2,280 誌
Emerald	213 誌
Gale Academic OneFile	19,300 誌
Hein	3,240 誌
JSTOR	1,527 誌
LWW via Ovid	13 誌
Nature関連誌	27 誌
OECD iLibrary	741 誌
Oxford	258 誌
Sage	589 誌
Springer	2,269 誌
Wiley	1,383 誌
メディカルオンライン	1,469 誌
その他	469 誌

(無料誌は含まない)

令和3年5月現在



Find it! Kobe Univ.

神戸大学内で利用可能な電子ジャーナルの一覧は「電子リソースリスト」から検索できる。

また、一部データベースでは、検索結果画面から「Find it! Kobe Univ.」を利用することで、電子ジャーナルに掲載されている記事を効率的に閲覧することもできる。

学内から利用できる主要なデータベース

分野内容	データベース	分野内容	データベース
引用情報	Essential Science Indicators	歴史	Eighteenth Century Collections Online
	Journal Citation Reports		House of Commons Parliamentary Papers
	Web of Science Core Collection	社会科学全般	The Making of the Modern World I & II
雑誌記事	Readers' Guide to Periodical Literature		Social Sciences Abstract
	ざっさくプラス	官報	官報情報検索サービス
新聞企業情報	日経テレコン(日本経済新聞ほか)	法学	D1-Law.com (第一法規 法情報総合データベース)
新聞記事	聞蔵II ビジュアル(朝日新聞)		HeinOnline
	毎索(毎日新聞)		Index to Legal Periodicals & Books
	ヨミダス歴史館(読売新聞)		Juris - Das Rechtsportal
辞書事典等	ジャパンナレッジLib		LEX/DB インターネット
音楽	ナクソス・ミュージック・ライブラリー		Lexis
電子ブック	NetLibrary: ネットライブラリー		Westlaw Next 法律文献総合インデックス
科学技術文献	JDreamIII	経済学	EconLit
数学	MathSciNet		IMD World Competitiveness Online
化学	SciFinder ⁿ		OECD iLibrary
医学	CINAHL	経営学	Business Source Premier
	EBMR(Evidence Based Medicine Reviews)via Ovid		eol
	MEDLINE(OvidSP)		Regional Business News
	Up to Date	統計	IMF Balance of payments statistics
	医中誌Web		IMF Direction of trade statistics
	最新看護索引Web		IMF Government finance statistics
	メディカルオンライン ライブラリー		IMF International financial statistics
心理学	PsycARTICLES		Monthly Bulletin of Statistics Online
	PsycINFO		

(詳細は図書館Webサイトを参照)

令和3年5月現在

デジタルアーカイブの構築・提供

神戸大学附属図書館では所蔵貴重資料などの学術資産や教育・研究成果を「デジタルアーカイブ」として広く世界に発信し、社会に対する本学の知的資源のポータル(窓口)機能を果たすことを目指している。また、平成31(2019)年1月からは、コンテンツの一部については二次利用申請手続きを不要とし、活用促進をはかっている。

神戸大学学術成果リポジトリ

平成18(2006)年10月より「神戸大学学術成果リポジトリ(機関リポジトリ)"Kernel"」の公開を開始した。学術雑誌に掲載された論文、紀要等学内刊行物の論文、博士号学位論文、図書、学術報告書、教材などあらゆる種類の学術成果が収録対象である。この他、学内刊行物の目次データベースとしての役割も果たしている。平成29(2017)年1月に「神戸大学オープンアクセス方針」を採択し、オープンアクセスのさらなる促進を目指している。

令和3(2021)年3月現在の公開件数は32,738件であり、令和2(2020)年度の月別平均論文ダウンロード数は170,000件を超える。



学内研究成果アーカイブ

「キク科の染色体数データベース」「アルナウト・ダニエル詩のコンコーダンス」「瀬戸内海海藻類標本」等、神戸大学における教育・研究の成果を図書館サーバから公開している。



経済関係資料アーカイブ

明治末～戦前期の新聞切抜資料「新聞記事文庫」(経済経営研究所所蔵)の全文・画像のデジタル化を継続的に進め、令和3(2021)年3月末現在、約32万7千件の記事を公開している。本事業は平成16(2004)～23(2011)、25(2013)、27(2015)～28(2016)、30(2018)年度に「科学研究費補助金研究成果公開促進費(データベース名:戦前期新聞経済記事文庫データベース)」の助成を受けた。

また、江戸期～明治初期の海事関係資料コレクション「住田文庫」の一部を修復・デジタル化公開している。



デジタル版新聞記事文庫(表示画面例)



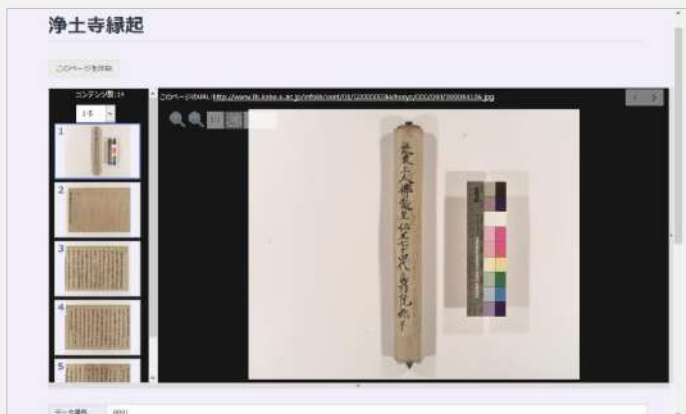
住田文庫(表示画面例)

その他 稀覯書・貴重書

各種貴重書についてもデジタル化を進め、『浄土寺縁起』『広峯神社古文書』などを公開している。

「神戸開港文書」は、本学デジタルアーカイブでデジタル化公開しているほか、アジア歴史資料センターデータベースでの検索も平成30(2018)年4月から可能となった。

また、平成26(2014)年度より、国文学研究資料館の事業「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」に参加し、拠点大学として、学内の古典籍のデジタル化を進めている。



浄土寺縁起(表示画面例)



広峯神社古文書(表示画面例)

震災文庫デジタルアーカイブ

阪神・淡路大震災に関する資料を収集する「震災文庫」の所蔵資料について、詳細なメタデータの提供に加え、著作権者の許諾が得られた一次情報のデジタル公開を行っている。公開している一次情報は、図書約480点、写真約24,000点、一枚ものの約3,300点のほか、動画・音声・広報類・データファイルなど多岐にわたっている。(令和3年3月末現在)

平成21(2009)年1月に「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」と横断検索を開始し、平成24(2012)年3月には「兵庫県立図書館」が加わり、3機関での検索が可能となった。また平成25(2013)年3月公開の「国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(愛称：ひなぎく)」に参加し、横断検索が可能となっている。平成30(2018)年10月にはハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本研究所と日本災害DIGITAL アーカイブに関する覚書を交わした。



「国際・教養系図書室 2階開架閲覧室/床置き複式書架の将棋倒し、頭繋ぎ無効」(神戸大学附属図書館撮影)

デジタルアーカイブ横断検索

各種のアーカイブを横断的に検索可能な「デジタルアーカイブ横断検索」機能を提供している。

各アーカイブを検索し、それぞれのヒット件数を表示させた後に詳細情報へとナビゲートされる。

この横断検索はZ39.50(*)とSRW(**)に対応した汎用的なシステムであり、検索対象は適宜追加可能である。現在は電子図書館の各アーカイブに加え図書館OPACを検索対象としている他、この機能を利用して「震災資料横断検索」を公開している。

(*) Z39.50 : 複数のコンピュータに保管されているデータベースに対して情報検索を行うための標準的なプロトコル

(**) SRW : Web環境における情報検索のためのプロトコル

図書館の活動

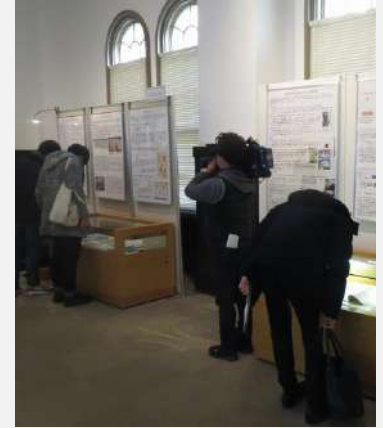
資料展

神戸大学附属図書館では、平成16(2004)年度の「震災文庫展示会」開催以降、毎年テーマを変えた資料展を開催し、所蔵資料を公開することで広く資料と関連事項等を知ってもらうべく活動をしている。

平成19(2007)年9月には、社会科学系図書館2階に展示コーナーを開設した。

令和元(2019)年度は「阪神・淡路大震災25年 あのとことこれから」をテーマに、当時の被害状況や震災の経験と教訓を紹介する資料展を開催した。

令和2(2020)年度は、新型コロナウイルス感染症対策で学外者の入館を不可としたため、館内での資料展開催は中止とした。代替として、デジタル資料展「古典籍さまざま」を附属図書館ホームページにて公開した。



これまでの展示

資料展名	期間	テーマ
1 震災文庫展示会	2004年11月8日(月) ～ 14日(日)	「資料でたどる 阪神・淡路大震災の記録と記憶」
2 平成17年度展示会	2005年11月7日(月) ～ 13日(日)	「近代神戸の足跡 ～神戸大学附属図書館所蔵資料から～」
3 平成18年度展示会	2006年11月10日(金) ～ 17日(金)	「東アジアのなかの日本 ～古地図と文献に見る交流の風景～」
4 平成19年度第1回常設展	2007年9月20日(木) ～ 12月21日(金)	「近代神戸の源流を訪ねて ～開港と居留地～」
5 平成19年度第2回常設展	2008年2月15日(金) ～ 6月20日(金)	「近代神戸の源流を訪ねて ～鈴木商店とマッチ産業の盛衰～」
6 平成20年度第3回常設展	2008年9月26日(金) ～ 12月19日(金)	「神戸から新天地へ ～ブラジル移民の100年～」
7 合同資料展	2009年10月9日(金) ～ 2010年1月22日(金)	「資料が語る 阪神・淡路大震災の記憶と現在」
8 平成22年度資料展	2010年10月22日(金) ～ 12月21日(火)	「『住田文庫』にみる開国と文明開化」
9 平成23年度資料展	2011年10月21日(金) ～ 12月20日(火)	「神戸ことはじめ ～外国人のいた風景～」
10 平成24年度資料展	2012年10月19日(金) ～ 12月18日(火)	「開学のころ ～110 Years Ago～」
11 平成25年度パネル展	2014年1月21日(火) ～ 2月10日(月)	「神戸近代点描」
12 平成26年度資料展	第1期 :2014年10月17日(金) ～ 11月16日(日) 第2期 :2014年12月24日(水) ～ 2015年1月29日(木)	「つたえる・つながる ～阪神・淡路大震災20年～」
13 平成27年度資料展	2015年10月1日(木) ～ 12月15日(火)	「村上家文書の世界 ～近世×神戸×農村～」
14 平成28年度資料展	2016年10月14日(金) ～ 12月20日(火)	「モダン神戸の光と影 ～『新聞記事文庫データベース』より～」
15 平成29年度資料展	2017年10月13日(金) ～ 12月19日(火)	「近代神戸の航路をたどる ～開港150年を迎えて～」
16 平成30年度資料展	2018年10月12日(金) ～ 12月18日(火)	「古典籍さまざま ～近世の出版物より～」
17 令和元年度資料展	2019年10月11日(金) ～ 2020年2月4日(火)	「阪神・淡路大震災25年 あのとことこれから」
18 デジタル資料展	2020年10月公開	「古典籍さまざま ～近世の出版物より～」 (平成30年度資料展WEB公開)

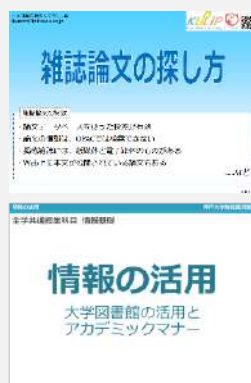
資料展の案内、内容等は、神戸大学附属図書館ホームページの「資料展」に掲載。
(附属図書館TOP> 学修サポート > イベント情報 > 資料展のご案内)

情報リテラシー教育支援

平成20(2008)年度から全学共通授業科目「情報基礎」の一コマ(90分)を図書館職員が担当しているほか、平成28(2016)年度に新設された各学部専門科目「初年次セミナー」においても、担当教員の依頼に応じて図書館ツアーや検索ガイダンスを実施している。

また、例年春と秋の2回、情報の探し方やアカデミックマナーに関する図書館ガイダンスを開催しているほか、4月から5月にかけて新入生向けの図書館ツアーを行っている。

そのほか、各講義に関連する資料を教員のコメント付きで掲載する「授業資料ガイド」やガイダンスの配布資料をパスファインダー「KULiP」から公開している。



パスファインダー KULiP



オーダーメイドガイダンスの対応

神戸大学附属図書館学生チーム ULiCS(うりくす)

「学生協働」を目的に平成27(2015)年10月発足。令和2(2020)年度末時点で17名の学生が参加している。"University Library Connects Students ~人と人との出会いを図書館から~"をモットーに、学生目線での図書館活動を行う。

ひと月に一度程度の定期ミーティングのほか、団体誌『ULiCS Times』の編集、読書会やビブリオバトルの企画・運営、学生協働イベントへの参加など活発に活動している。新たな企画も随時計画中である。

- 1 ウェブサイト「附属図書館学生チームULiCSについて」
(附属図書館TOP> 附属図書館について> 学生チームULiCS)
- 2 「ULiCS」公式Twitter
- 3 平成30年度大学図書館学生協働交流シンポジウム発表ポスター



広報 / ICT活用

公式キャラクターの活用



うりこ



附属図書館の公式キャラクターとして各広報媒体や利用者教育の場で活用されている。

大学図書館としては全国初の試みであったLINEスタンプは第2弾までリリースされ、オリジナル4コマ漫画『うりこ』は高い人気を誇る。

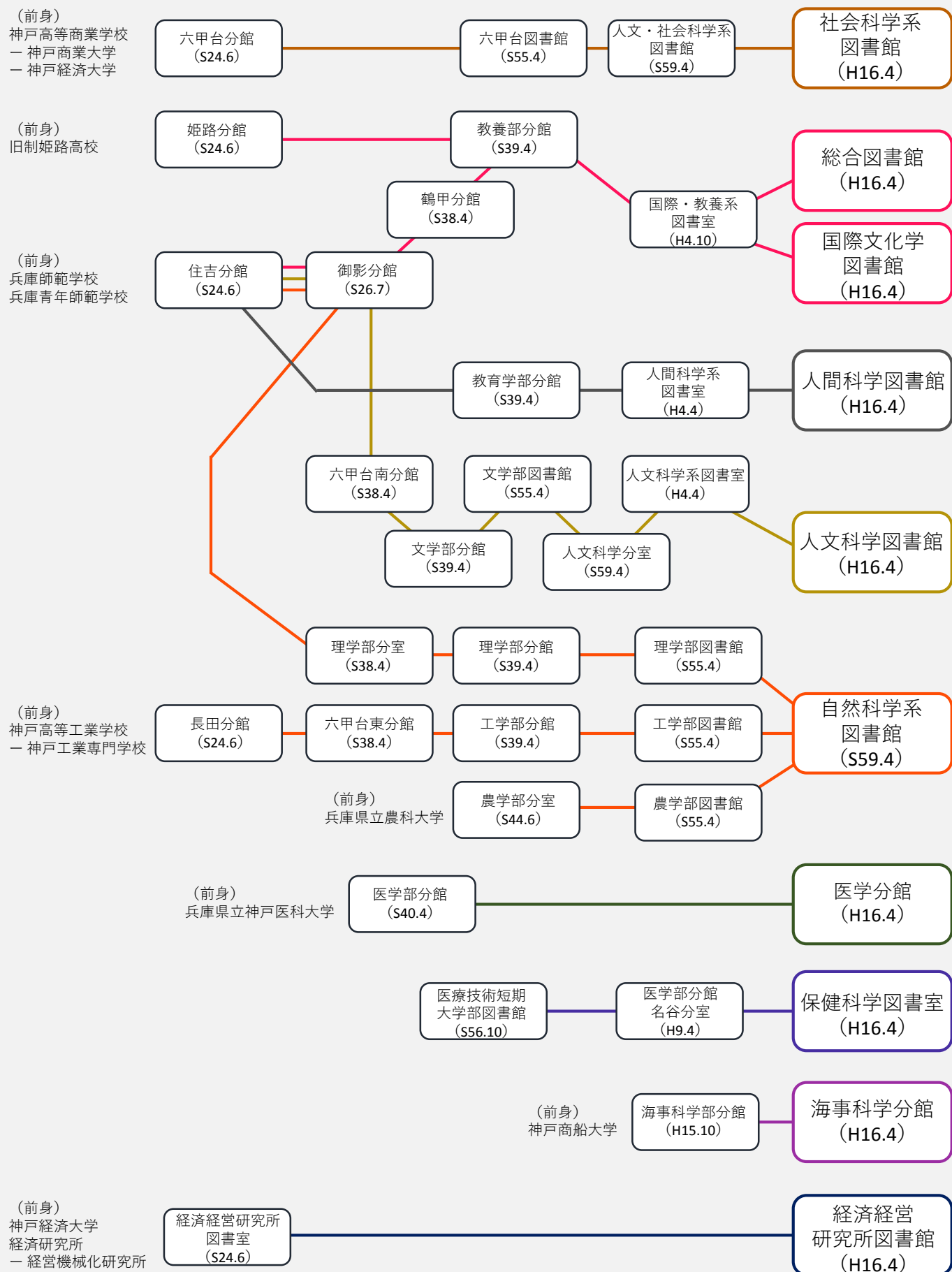
情報発信とモバイル対応



公式Twitterは大学図書館屈指のフォロワー数を抱え、幅広くフットワークの軽い発信に利用されている。近年ウェブサイトでは、モバイル利用者をターゲットにしたICTサービスが拡充されている。

各図書館室/関連施設概要

各図書館室の沿革



◆社会科学系図書館

Library for Social Sciences

社会科学系図書館は、法学研究科、経済学研究科、経営学研究科、国際協力研究科の社会系4部局を主なサービス対象とする専門図書館で、明治36(1903)年に開館した神戸高等商業学校図書館を前身とする学内で最も長い歴史と規模を誇る。戦前からの蔵書を引き継ぎ、社会科学関係資料において高い評価を受けている。

昭和8(1933)年、神戸商業大学の六甲台移転に伴って新営された現本館(国の登録有形文化財に登録)の大閲覧室は、ステンドグラスと高い天井をもち、昭和初期の建築様式を今に伝えている。この本館をもとに、書庫棟(1960年及び1971年)・管理棟(1981年)と増築を重ね、平成16(2004)年、社会科学系総合研究棟<フロンティア館>の新営に伴い、開架図書室の拡充、書庫の増設、新着雑誌室・震災文庫室・貴重図書室・マイクロ資料室・プレゼンテーションホールが整備された。平成24(2012)年に入館ゲートを設置。

平成22(2010)年度に本館2F大壁画を修復。平成25(2013)年度には文化庁の「歴史的建物整備事業」により本館改修、平成26(2014)年4月に新装開館した。あわせて管理棟の耐震改修工事も実施、ラーニングコモンズを新設し、学修支援空間としての機能向上を図った。また、人文・社会科学系外国雑誌センター及び「震災文庫(阪神・淡路大震災関係資料文庫)」も本図書館に置かれている。

本図書館は、附属図書館全体の管理運営機能(中央図書館機能)も果たしてきた。法人化を機に「総合図書館」組織を分離したが中央機能は引き続き本図書館に置かれ、附属図書館長、事務部長、情報管理課2係・2グループ、情報サービス課1係が常駐している。



◆総合図書館・国際文化学図書館

General Library / Library for Intercultural Studies

平成16(2004)年の国立大学法人化を機に「国際・教養系図書室」の全学共通教育対応機能を分離し、学習図書館機能を担う「総合図書館」を設置。国際文化学部及び国際文化学研究科、総合人間科学研究科の教育・研究のための機能は「国際文化学図書館」として担うこととし、これを専門図書館と位置づけた。

総合図書館は、平成12(2000)年の附属図書館審議会答申「神戸大学附属図書館将来構想」にあるとおり、学習支援機能の強化と全学図書館の調整機能を担う館として構想されたものであるが、当面は国際文化学図書館と同一施設で運用することとしている。

本図書館は、全館室の中で最もサービス対象学生数が多いため入館者数も最大で、全学共通教育支援の役割を担っていることからほぼ全分野にわたる資料を収集しており、蔵書構成は、特に一般教養図書が豊富である。

平成16(2004)年10月からは学外利用者への貸出サービスを開始、地域連携にも努めている。

平成20(2008)年、耐震補強並びに改修工事竣工により、集密書架と専用エレベーターを新設。平成23(2011)年、入館ゲート設置。

平成27(2015)年10月にはラーニングコモンズを開設した。



❖人間科学図書館

Library for Human Development Sciences

人間発達環境学研究科を主なサービス対象とする。元は「教育学部分館」であったが、平成4(1992)年に教育学部が発達科学部に改組されたことに伴い、「人間科学系図書室」と改称。平成16(2004)年4月より現在の「人間科学図書館」とした。

「人の発達」「人の発達を支える環境」とは何かを探究する教育研究活動を支えるべく、旧教育学部分館からの蔵書をさらに発展させ、発達科学のみならず、人文・社会・自然・芸術・体育など広範囲に及ぶ資料を収集している。

平成8(1996)年、閲覧室拡張等の改修を実施。

平成15(2003)年、書庫の一部に電動集密書架を設置。

平成20(2008)年には新たにグループ学習室を設置。

平成23(2011)年、入館ゲートを設置。



❖人文科学図書館

Library for Humanities

人文科学図書館は、人文学研究科を主なサービス対象とする専門図書館である。蔵書は、人文科学系の資料が中心で特に和漢洋の古典、基本的図書の整備・拡充に努めている。

平成6(1994)年に電動式集密書架設置。平成19(2007)年の改修工事で地下書庫にハンドル式集密書架を、平成24(2012)年の改修工事で入館ゲートをそれぞれ設置。

平成25(2013)年には神戸大学初のラーニングコモンズを開設した。また、平成26(2014)年、日本文化資料コーナーを設置した。



❖自然科学系図書館

Library for Science and Technology

自然科学系図書館は、理学研究科・工学研究科・システム情報学研究科・農学研究科・科学技術イノベーション研究科を主なサービス対象とする専門図書館である。昭和59(1984)年に当時の理・工・農各学部図書館を統合して新営された。情報基盤センターと隣接し、図書館情報システムの中核としてオンライン情報検索やデータベース等を先進的に導入するなど、図書館サービスの情報化に大きな役割を果たしてきた。

平成19(2007)年、閲覧机・座席数を拡充。平成22(2010)年、25(2013)年、書架の増設を実施。平成23(2011)年、入館ゲートを設置した。

令和3(2021)年度より改修・増築工事を行い、共同利用書庫、ラーニングコモンズ及びリサーチコモンズを開設予定。



❖医学分館

Library for Medical Sciences

楠キャンパスに位置し、医学研究科及び附属病院を主なサービス対象とする。

昭和37(1962)年、China Medical Board of New York, Inc. から寄付を得て竣工した兵庫県立神戸医科大学附属図書館の運営方針を継承し、昭和40(1965)年4月、神戸大学への移管に伴い「医学部分館」として発足、平成16(2004)年4月「医学分館」と改称した。

現施設は、平成8(1996)年に新営された医学研究科管理棟の地階～2階に位置する。

平成9(1997)年から特別利用(24時間開館)を実施して研究・学習支援に努めると共に、学内館室の中で最も早い平成12(2000)年からIDカードによる入館システムの運用を開始した。

平成26(2014)年3月、老朽化した集密書架の一部を更新した。



❖保健科学図書室

Library for Health Sciences

名谷キャンパスに位置し、保健学研究科を主なサービス対象とする。看護学・検査技術科学・理学療法学・作業療法学を中心とした図書を収集、配架している。

昭和56(1981)年に医療技術短期大学部図書館として発足し、昭和59(1984)年3月に図書館棟が竣工した。医学部保健学科発足後の平成9(1997)年に附属図書館組織に編入され「名谷分室」となり、平成16(2004)年4月より「保健科学図書室」と改称した。

平成24(2012)年3月、入館ゲート設置。令和2(2020)年度に改修工事をおこない、令和3(2021)年4月に新装開館、1階にラーニングコモンズを開設した。



❖海事科学分館

Library for Maritime Sciences

深江キャンパスに位置し、海事科学研究科を主なサービス対象とする。

平成15(2003)年10月、神戸大学と神戸商船大学の統合によって神戸商船大学附属図書館が「海事科学部分館」となり、平成16(2004)年4月より「海事科学分館」と改称した。蔵書の中心は海事関係の図書・学術雑誌で、全国でも数少ない海事図書館として広く利用されている。

平成17(2005)年4月から学外利用者への貸出サービスを開始し、地域連携にも努めている。

平成23(2011)年3月、入館ゲートを設置。

平成26(2014)年4月、英語多読図書のコーナーを設けた。



経済経営研究所図書館は、附属図書館組織に属さない専門図書室として運営されてきたが、国立大学法人化を機に附属図書館の1館と位置づけられた。

経済学・経営学関係の図書・雑誌を幅広く収集しているほか、国内外の企業関係資料や中南米関係資料などのコレクションを有している。また、経済協力開発機構(OECD)、国際労働機関(ILO)、世界貿易機関(WTO)、国際海事機関(IMO)、国際通貨基金(IMF)、世界銀行などの資料も積極的に収集している。

国内に14館ある「国連寄託図書館」の1つとして1968年に指定された「神戸大学国連寄託図書館」を兼ねており、国際連合資料である文書や刊行物を収受、所蔵し、広く一般に公開している。



●外国雑誌センター

神戸大学附属図書館は、人文・社会科学系外国雑誌センターの指定を受けている。

外国雑誌センターは外国の学術雑誌、とりわけ国内に所蔵の少ない雑誌を体系的に収集し、全国共同利用に供することを目的として設置され、文部科学省の特別予算措置を受けて運営されている。人文・社会科学系、医学・生物学系、理工学系、農学系の4つの分野について、全国で9つの国立大学附属図書館が指定を受けている。

人文・社会科学系の外国雑誌センターとしては、昭和60(1985)年度の一橋大学に続いて、昭和61(1986)年度に本学が指定され、2大学でこの分野の収集につとめ、ILL(図書館間相互利用)システムを通じて全国に文献複写の提供サービスを実施している。

外国雑誌センターは社会科学系図書館に置かれており、令和2年度は冊子で96タイトルを受け入れ、電子ジャーナル1,360タイトルへのアクセスを提供している。

●震災文庫(阪神・淡路大震災関係資料文庫)

神戸大学附属図書館では、被災地の中にある大学図書館の責務として、平成7(1995)年1月17日に発生した阪神・淡路大震災に関する資料の網羅的な収集活動を行い、社会科学系図書館に設けられた「震災文庫」において同年10月30日より一般公開している。一般的な図書・雑誌のみならず、チラシ・ポスター・レジュメ・パンフレット・広報紙・写真・ビデオなど、媒体・形態を問わず収集・提供・保存活動を行っている。令和3(2021)年3月末現在の収集資料数は61,500件に達し、震災発生から26年経った現在でも所蔵資料数は日々増え続けている。また、収集資料をデジタル化してインターネット上に公開する「震災デジタルアーカイブ」事業も積極的に進めており、令和3(2021)年3月末現在の公開件数は5,319件である。

平成21(2009)年1月にスタートした阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター所蔵の図書資料との横断検索に、平成24(2012)年3月からは兵庫県立図書館が加わり、3館の震災資料が検索可能となった。

収集資料点数(令和3年3月末現在)	
図書資料	8,646
雑誌資料	14,103
新聞・広報紙類	24,113
パンフレット類	6,615
一枚もの資料	7,217
写真資料	113
地図資料	153
動画資料	335
音声資料	110
コンピュータ資料	100
WWW	11
合計	61,516
注)雑誌、広報紙は「号」単位 写真等は枚数ではなくコレクション単位	



神戸大学大学文書史料室は、平成22(2010)年4月1日に設置された神戸大学唯一のアーカイブズである。その目的は、神戸大学の法人文書のうち歴史資料として重要な文書として移管されたもの、寄贈・寄託されたもの、その他神戸大学の歴史に係る資料を保存するとともに、一般の利用に供することにある。平成23(2011)年3月30日公布の内閣府告示第13号で、内閣総理大臣から「国立公文書館等」（＝国立公文書館に類する機能を有する施設）の政令指定を受けた。

当室では、神戸大学創立以来の百十有余年にわたり大切に引き継がれた前身校及び新制神戸大学の歴史に係る貴重な資料を所蔵し、また毎年新たに保存期間が満了した神戸大学歴史公文書等を全学から定期的に受入れ、順次目録を公開し、一般利用に供している（令和3(2021)年4月末現在の目録総件数は60,464件）。

また、「神戸大学史」に関する常設展、特別展（年1回）及び巡回展（年3回程度）等の展示活動や、デジタル化した所蔵資料等のインターネット公開、本学の歴史に関する学内外からの照会、見学希望などにも積極的に対応している。



■展示活動(令和2年度)

展示の名称	期 間	場 所
常設展「神戸大学史展—創立1902(明治35)年から現代まで—」	常時(コロナ禍による緊急事態宣言発出に伴い令和2年4月9日から休止)	百年記念館1階展示ホール
特別展「戦場に行った学生たち—終戦75周年記念—」	令和2年11月2日～12月28日、 会期延長令和3年1月4日～2月12日 (コロナ禍による緊急事態宣言再発出に伴い令和3年1月14日開催中止)	百年記念館1階展示ホール
巡回展(東京)「戦場に行った学生たち—終戦75周年記念—」 パネル展	(コロナ禍のため開催中止)	神戸大学東京六甲クラブ
巡回展(神戸)「戦場に行った学生たち—終戦75周年記念—」	(コロナ禍のため開催中止)	神戸大学海事博物館 社会科学系図書館展示ホール

歴代館長

氏名	在任期間
宮 下 孝 吉	1949. 5.31 ～ 1953. 3.31
新 庄 博	1953. 4. 1 ～ 1959. 5.31
山 下 勝 治	1959. 6. 1 ～ 1962. 5.31
柚 木 馨	1962. 6. 1 ～ 1963.12.15
今 井 林太郎	1963.12.16 ～ 1966.12.15
八 木 弘	1966.12.16 ～ 1969. 1. 9
戸 田 義 郎	1969. 1.10 ～ 1972.10.15
嘉 納 孔	1972.10.16 ～ 1975.10.15
矢 尾 次 郎	1975.10.16 ～ 1978.10.15
松 本 隆 一	1978.10.16 ～ 1981. 2.15
堯 天 義 久	1981. 2.16 ～ 1981. 2.28
森 昭 夫	1981. 3. 1 ～ 1984. 2.29
大 野 喜久之輔	1984. 3. 1 ～ 1987. 2.28
細 川 藤 次	1987. 3. 1 ～ 1990. 2.28
鈴 木 正 裕	1990. 3. 1 ～ 1991. 2.28
安 川 克 己	1991. 3. 1 ～ 1994. 2.28

氏名	在任期間
鈴 木 正 裕	1994. 3. 1 ～ 1994. 3.31
下 井 隆 史	1994. 4. 1 ～ 1996. 3.31
藤 井 聰	1996. 4. 1 ～ 1997. 3.31
小 林 哲 夫	1997. 4. 1 ～ 1999. 3.31
利根川 孝	1999. 4. 1 ～ 2001. 3.31
中 村 道	2001. 4. 1 ～ 2003. 3.31
佐々木 武	2003. 4. 1 ～ 2005. 3.31
須 藤 健 一	2005. 4. 1 ～ 2007. 3.31
武 田 廣	2007. 4. 1 ～ 2009. 3.31
瀧 澤 栄 治	2009. 4. 1 ～ 2011. 3.31
樋 口 保 成	2011. 4. 1 ～ 2013. 3.31
釜 谷 武 志	2013. 4. 1 ～ 2015. 3.31
野 海 正 俊	2015. 4. 1 ～ 2017. 3.31
萩 原 泰 治	2017. 4. 1 ～ 2019. 3.31
富 山 明 男	2019. 4. 1 ～ 2021. 3.31
櫻 井 徹	2021. 4. 1 ～ (現職)

特色ある蔵書・コレクション

タイトル	内容	冊数	所蔵館
播州関係郷土史料 広峯神社古文書 浄土寺縁起 播州膝栗毛	播磨各地の郷土史料を主とする史料。代表的なものは以下の3種である。 姫路の広峯神社に伝わった古文書19点、鎌倉期のものを含む。【デジタルアーカイブで公開】 小野市浄土寺に関わる慶長年間の写本。原本を正確に伝える。【デジタルアーカイブで公開】 十返舎一九作の江戸後期の刊本。	509種	総合・国際文化学図書館
新島文庫	新島繁（野上蔵）氏旧蔵の人文社会科学諸資料のコレクション	3,047点	総合・国際文化学図書館
原文庫	原弘毅氏旧蔵のドイツ文学・語学・芸術書のコレクション	1,411点	総合・国際文化学図書館
二宮文庫	二宮尊道氏旧蔵のD.H.ロレンスとT.S.エリオットを中心とする英文学書のコレクション	322点	総合・国際文化学図書館
百瀬文庫	百瀬弘氏旧蔵の漢籍を主とする中国史書のコレクション	449点	総合・国際文化学図書館
住田文庫	住田正一氏より寄贈された、慶長～明治初年の海事・海運関係資料コレクション	約6,500点	社会科学系図書館
村上文庫	摂津国八郡郡花熊村村上文庫	5,742点	社会科学系図書館
神戸開港文庫	土地・海運関係や居留地の生活・行政関係	1,128点	社会科学系図書館
スムマ	ルカ・パチョーリ著。算術・幾何・比および比例全書複式簿記に関して世界で最初に出版された図書といわれる。1494年ベネチア刊の初版本を所蔵。		社会科学系図書館
カメラール文献	戸田博之氏旧蔵の18世紀ウィーン近郊で実際に使用されていたカメラール簿記関連文献	17点	社会科学系図書館
開城簿記帳簿	平井泰太郎氏旧蔵の18世紀に朝鮮半島で実際に使用されていた簿記帳簿	13点	社会科学系図書館
Brucker, Johann Jacob. Historia criticaphilosophiae	1767年出版の第2版全6巻を所蔵。初版は1742～44年であるが、第2版で夥しい補注が付されている。	全6巻	人文科学図書館
小林文庫	小林太市郎氏旧蔵の芸術・哲学・文学関係の和漢洋書	5,390点	人文科学図書館
井上文庫	井上庄七氏旧蔵の西洋近世哲学関係洋書	875点	人文科学図書館
雪山文庫	雪山俊夫氏旧蔵のドイツ学関係洋書	2,861点	人文科学図書館
市川文庫	市川承八郎氏旧蔵の西洋史学関係の洋図書	1,019点	人文科学図書館
播陽萬寶智恵袋	天川友親編、宝暦10（1769）年。播磨の地誌典籍125編を編集したもので、自筆原本を所蔵している。		人間科学図書館
郷土研究資料	兵庫県歴史、地誌、教育に関する資料を所蔵している。	約7,000冊	人間科学図書館
教科書	明治期の教科書から現行のものまで多数所蔵している。		人間科学図書館
国連寄託図書館	日本に設置されている国連寄託図書館14館の内の一つとして国際連合資料を所蔵。	12,831点	経済経営研究所図書館
新聞記事文庫	明治45年から昭和45年にかけて収集した切抜帳約3,200冊、記事数約50万件の新聞記事切抜資料で、多種の新聞からの記事を研究者の目で分類しており、特に戦前のものは他に例のない貴重なものである。現在デジタル公開を進めている。		経済経営研究所図書館
中南米文庫	福原八郎・野田良治両氏の寄贈図書を基礎に昭和13年1月に開設された南米文庫を引き継いでいる。オセアニア文庫とともに地域研究資料として高く評価されている。	11,782点	経済経営研究所図書館
オセアニア文庫	昭和52年12月、オーストラリア政府寄贈図書を基礎に設置された。その後、オーストラリア、ニュージーランド経済・産業に関する資料を加えた地域研究資料となっている。	3,483点	経済経営研究所図書館
海図・水路誌	国内・海外の海図や水路誌のコレクション	約7,000枚	海事科学分館
渋谷文庫	旧日本海軍造船機技術資料	約4,400点	海事科学分館
市村文庫	海商法関係資料		海事科学分館
泉江三文庫	艦船関係資料	1,023点	海事科学分館



天竺舶来大象之寫真（住田文庫）



朝鮮漂流日記（住田文庫）

ACCESS / CONTACT

◆六甲台キャンパス

① 総合図書館・ 国際文化学図書館

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1-2-1

TEL/(078)803-7351

FAX/(078)803-7355

② 社会科学系図書館

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1

事務室/(078)803-7315
サービス・カウンター/(078)803-7339

FAX/(078)803-7343

震災文庫

サービス・カウンター/(078)803-7342

③ 自然科学系図書館

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

事務室/(078)803-5303
サービス・カウンター/(078)803-5308

FAX/(078)803-5310

④ 人文科学図書館

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

TEL/(078)803-5585

FAX/(078)803-5588

⑤ 人間科学図書館

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲3-11

TEL/(078)803-7951

FAX/(078)803-7955

⑥ 経済経営研究所図書館

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1

TEL/(078)803-7025

FAX/(078)803-7274

★ 大学文書史料室

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

TEL/(078)803-5035

FAX/(078)803-5038

◆楠キャンパス

⑦ 医学分館

〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-1

TEL/(078)382-5310

FAX/(078)382-5319

◆名谷キャンパス

⑧ 保健科学図書館

〒654-0142 神戸市須磨区友が丘7-10-2

TEL/(078)796-4505

FAX/(078)796-4588

◆深江キャンパス

⑨ 海事科学分館

〒658-0022 神戸市東灘区深江南町5-1-1

TEL/(078)431-6239

FAX/(078)431-6360

六甲台地区



楠地区



名谷地区



深江地区





神戸大学附属図書館要覧

令和 3 年 7 月 発行

編集・発行 神戸大学附属図書館
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1
電 話 078-803-7315(企画係)